

青森県景気ウォッチャー調査特別調査（令和4年1月期）

新型コロナウイルス感染症による県内の景気への影響に関する調査について

1. 概要

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、国内外の社会経済や、本県の地域経済及び県民生活に大きな影響を与えていることを踏まえ、新型コロナウイルス感染症が県内の景気に及ぼす影響について、青森県景気ウォッチャーを対象に特別調査を行った。

2. 調査期間

令和4年1月4日～1月27日 回答率 100%

3. 調査事項

設問	回答方法
①新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響に対する判断	5段階（非常に影響があった／どちらかといえば影響があった／どちらとも言えない／どちらかといえば影響がなかった／まったく影響がなかった）
①の理由	自由記述
②新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響に対する判断	5段階（非常に影響がある／どちらかといえば影響がある／どちらとも言えない／どちらかといえば影響がない／まったく影響がない）
②の理由	自由記述

令和4年2月

青森県企画政策部統計分析課

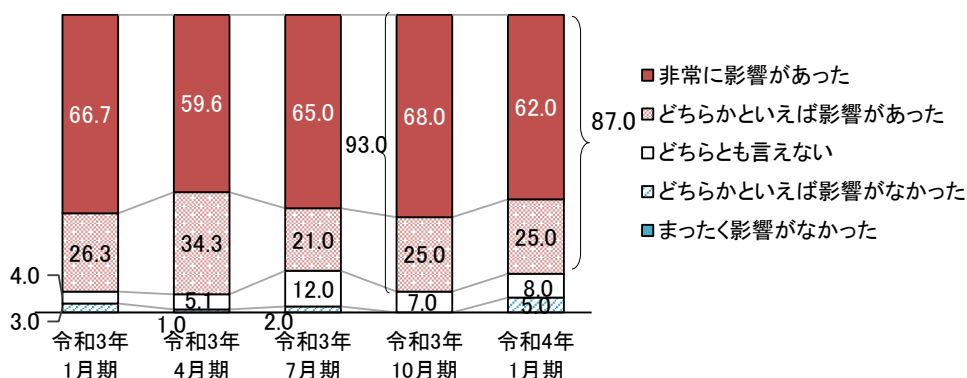
## (1) 新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響

### ① 県全体の動向

県全体をみると、「非常に影響があった」との回答が62.0%と最も多く、「どちらかといえば影響があった」との回答と合わせると87.0%となった。「どちらとも言えない」との回答は8.0%、「どちらかといえば影響がなかった」との回答は5.0%、「まったく影響がなかった」との回答はなかった。

前期調査と比べると、「非常に影響があった」「どちらかといえば影響があった」との回答が合わせて6.0ポイント低下した。

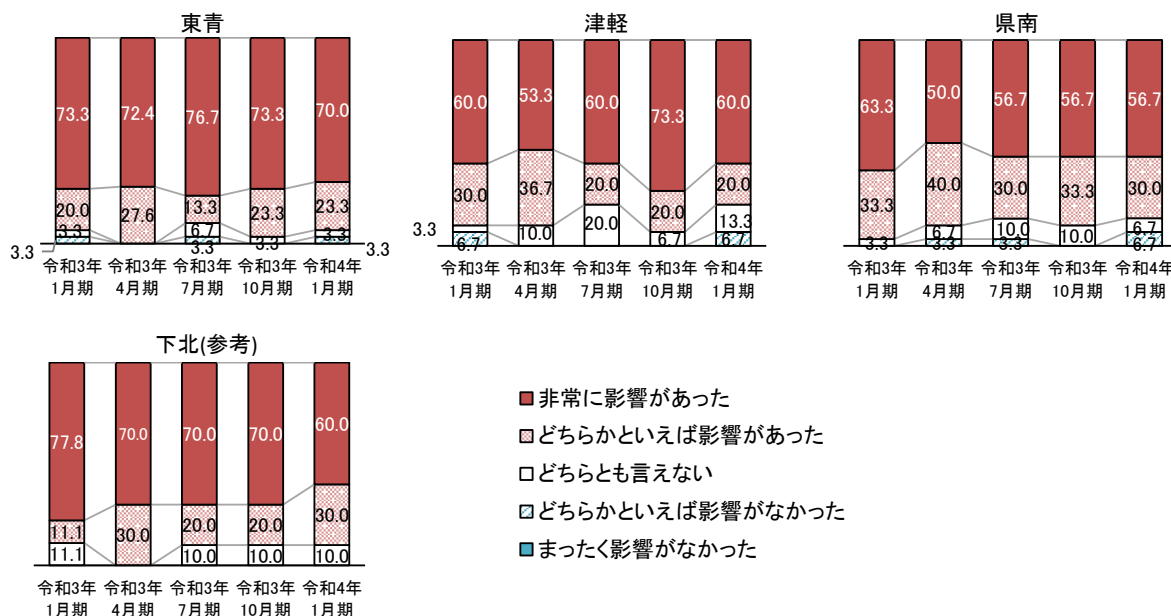
新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響  
回答別構成比(県全体)(%)



### ② 地区別の動向 (※下北地区については、サンプル数が少ないため参考値)

地区別にみると、全地区とも、「非常に影響があった」との回答が最も多くなっているものの、前期調査と比べて横ばいもしくは低下している。

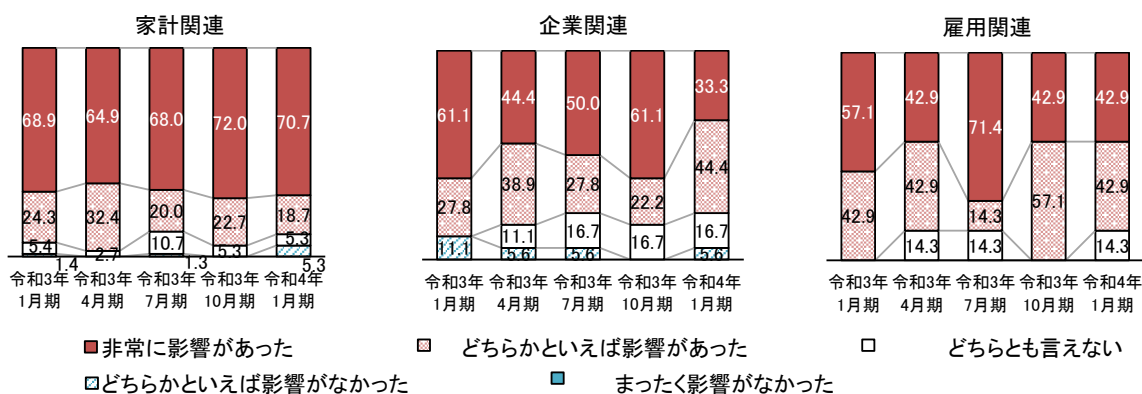
新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響 回答別構成比(地区別)(%)



### ③ 分野別の動向

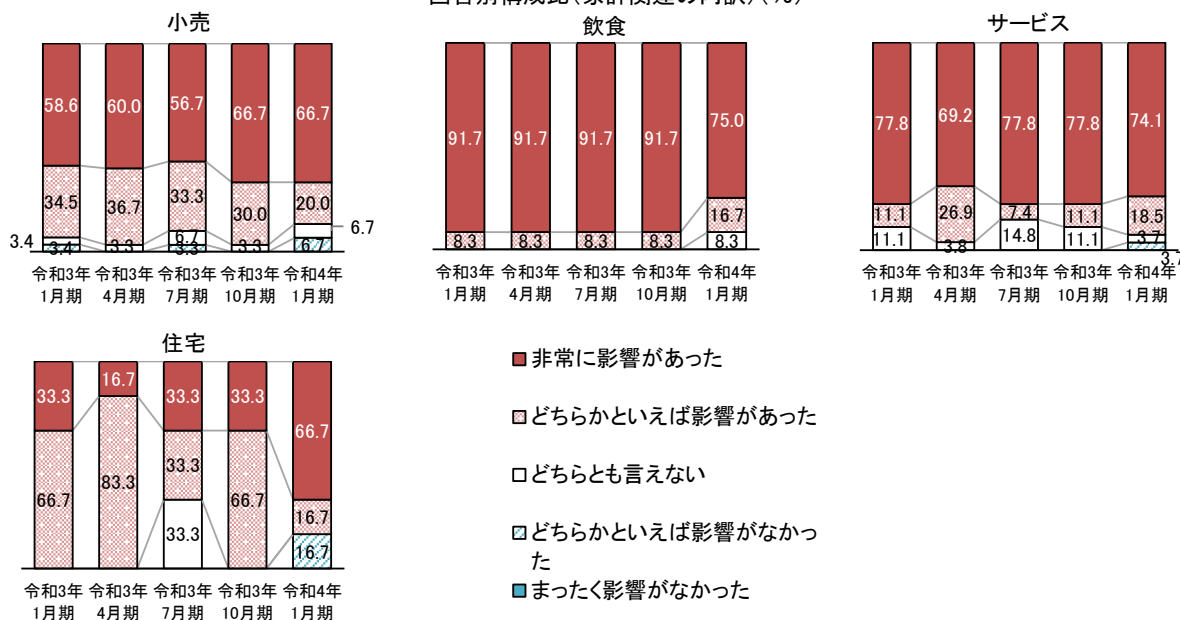
分野別にみると、家計関連で「非常に影響があった」との回答が最も多くなっているものの、「どちらかといえば影響があった」と合わせた割合は前期調査と比べて全分野で低下となった。

新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響 回答別構成比(分野別)(%)



家計関連の内訳をみると、いずれも「非常に影響があった」との回答が最も多いが、住宅以外でその割合は横ばいもしくは低下している。

新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響 回答別構成比(家計関連の内訳)(%)



### ④ 判断理由

判断理由では、「影響があった」理由として、「売上の減少。人の流れがなくなってしまった(商店街＝津軽)」など、依然として人出の減少が影響しているという声が多く、特に宿泊、飲食サービス業では新型コロナウイルス感染防止を理由とする予約のキャンセルが相次いだとの声があった。「どちらとも言えない」理由としては、「コロナ感染での実績の良し悪しは、判断が難しい(家電量販店＝県南)」、「受注の動向は例年と変わっていないため(電気機械製造＝津軽)」などの声があった。「どちらかといえば影響がなかった」理由としては、「3密回避が定着したせいか、マスクも含めて、あまり危機感を感じられないし、特別な事をしているようでもない様です(美容院＝県南)」といった新しい生活様式の定着を挙げる声などがあつた。

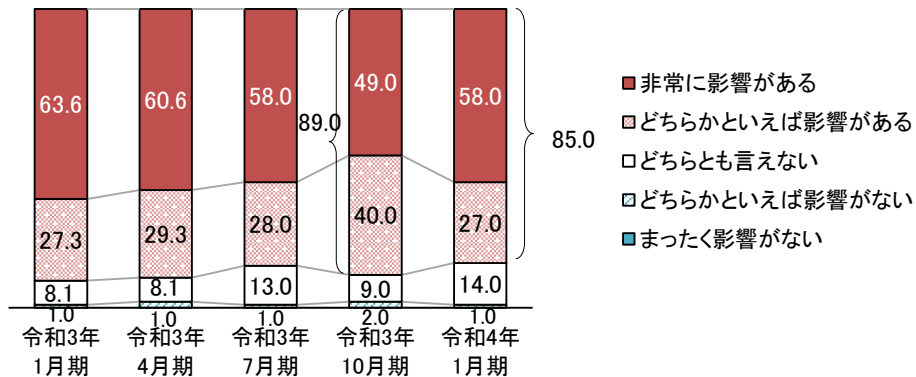
## (2) 新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響

### ① 県全体の動向

県全体をみると、「非常に影響がある」との回答が58.0%と最も多く、「どちらかといえば影響がある」との回答と合わせると85.0%となった。「どちらとも言えない」との回答は14.0%、「どちらかといえば影響がない」との回答は1.0%、「まったく影響がない」との回答はなかった。

前期調査と比べると、「非常に影響がある」「どちらかといえば影響がある」との回答が合わせて4.0ポイント低下した。

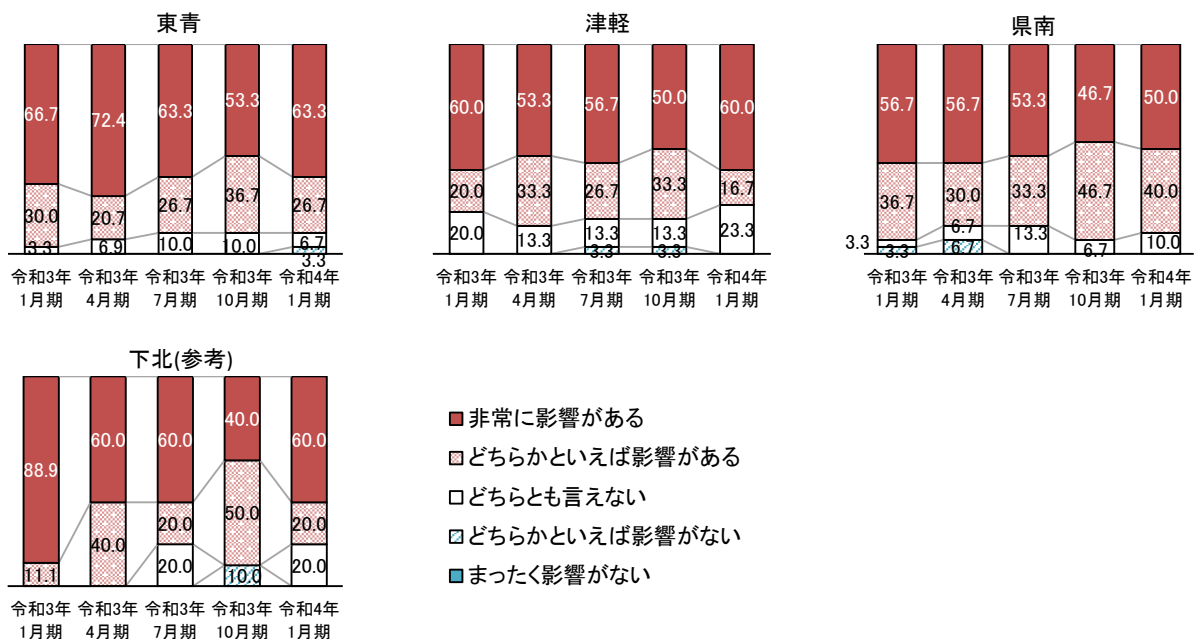
新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響  
回答別構成比(県全体)(%)



### ② 地区別の動向 (※下北地区については、サンプル数が少ないため参考値)

地区別にみると、全地区において「非常に影響がある」との回答割合が前期調査と比べて上昇した。一方で「どちらかといえば影響がある」との回答を合わせると、その割合は横ばいもしくは低下した。

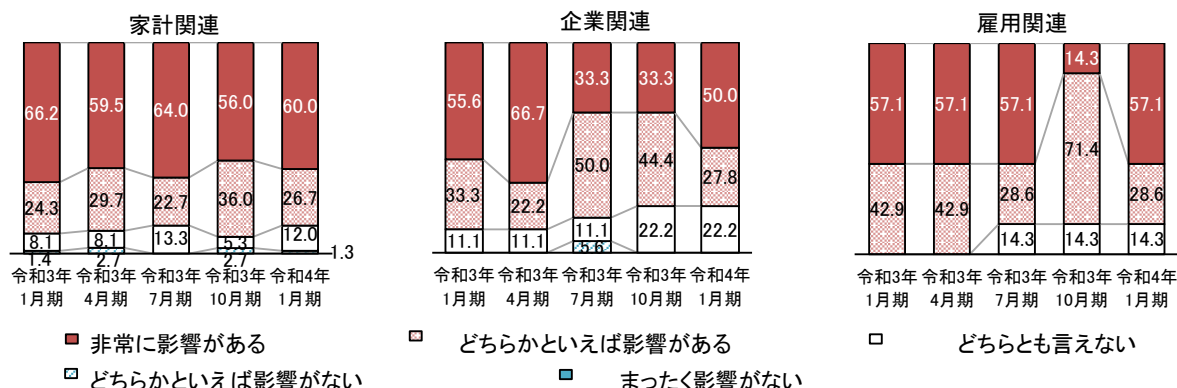
新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響  
回答別構成比(地区別)(%)



### ③ 分野別の動向

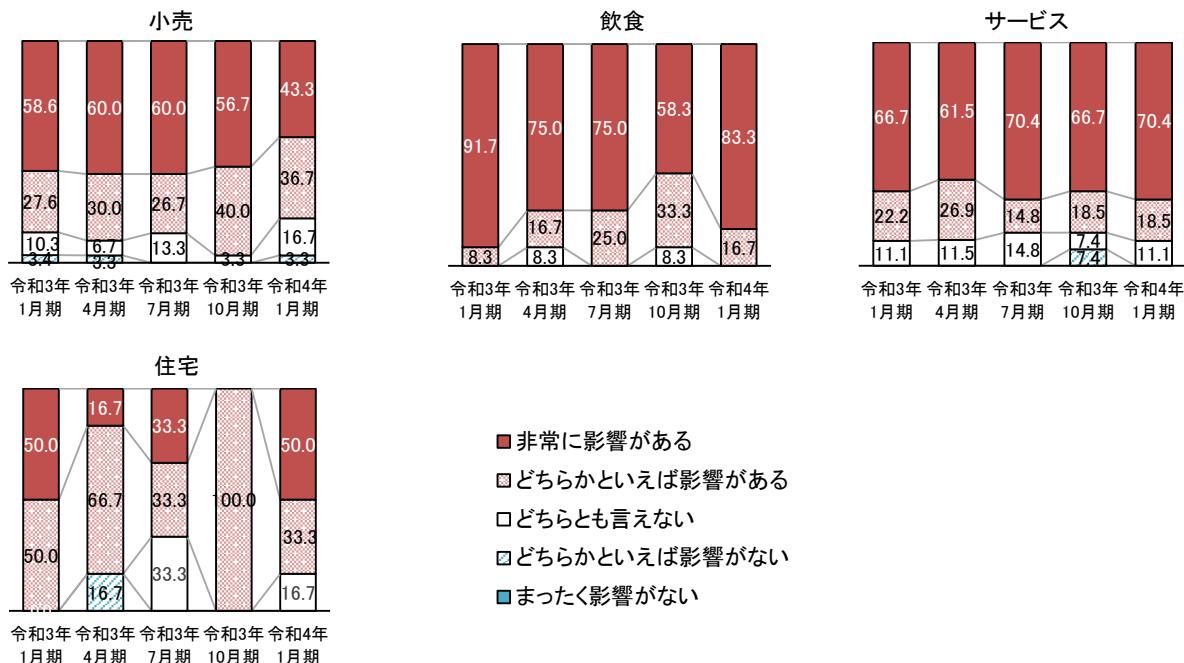
分野別にみると、全分野で「非常に影響がある」の回答割合が前期に比べ上昇し、特に家計関連、雇用関連では「非常に影響がある」、「どちらかといえば影響がある」の回答が80%を上回っている。

新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響  
回答別構成比(分野別)(%)



家計関連の内訳をみると、小売が「非常に影響がある」の回答割合が前期に比べて低下している一方で、飲食、サービス、住宅は上昇もしくは横ばいとなっている。

新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響  
回答別構成比(家計関連の内訳)(%)



### ④ 判断理由

判断理由では、「影響がある」理由として、「新型コロナ「オミクロン株」感染者数増加により、再び影響が懸念されます(スーパー＝東青)」、「第6波による、経済の停滞による景気回復の鈍化(紙・パルプ製造業＝県南)」など、オミクロン株の流行による第6波の景気への影響を懸念する声が多く挙げられた。「どちらとも言えない」理由としては、「オミクロン株の感染の波がどの程度収まるか、ワクチンのブースター接種がどの程度早まるかに、大いに影響されると思います(経営コンサルタント＝津軽)」や「予測がつかないです(家電量販店＝県南)」など、今後のオミクロン株の感染状況がどうなるか、先行きの不透明感を挙げる声があった。

### (3) 判断理由

#### ① 新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響

現在の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	家計	東青	スーパー	新型コロナ感染者数減少で、以前の状況に戻りつつありました。
			タクシー	昨年末の12月27日までは市に於いても人間の外出移動は徐々に盛んになってきましたが、12月27日後半から今日現在に至るまで、帰省移動が終了してしまうと人の流れがまた鈍くなってしまいました。1月に入ってから最初はまだ緩かったものの、14日現在までのタクシーの運送収入は累計値で見ればコロナで悪影響を受けていた昨年の悪い数値を更に下回るかのような「負の勢い」に転じてきています。
			娯楽業	中高年の人たちが外出を控えるようになった気がする。
			衣料専門店	サービス業、流通業者にとっては、最悪な二年間です。
			一般飲食店	コロナの動きがまるまる店の数字に影響します。経済は人の心でこんなにもかわるものなのかと、この2年、本当に思い知らされました。先手と思い行方対策なども、焼け石に水といった感があったです。このコロナ禍から本当に多くを学びました。少し強くなったように思います。
			一般小売店	10月以降も観光客等の人の移動が、思うより戻り切っていない。
			卸売業	業務用酒販店の売上げが減になり、影響があった。
			家電量販店	新型コロナウイルスにより、新しい生活様式の浸透や外出自粛による在宅時間の増加が、人々の消費行動を変化させる要因となっており、営業活動への影響を強く受けているためです。
			観光名所等	コロナウイルスが理由のキャンセルがあった。
			都市型ホテル	旅行需要の低下。
			百貨店	営業時間の短縮、従業員の勤務時間短縮、取引先の社員派遣中止、勤務時間短縮。取引先の破たんによる空床の発生。海外からの流通停止による欠品の発生、価格の高騰。
			旅行代理店	旅行計画がストップし、計画されてもキャンセルが相次いだため。
			商店街	遠出での買い物を避けてか、近隣からの顧客依頼が増えた。しかし、海外での生産に制限がかかる影響による商品入荷の遅れ、不明も続いている。
			住宅建設販売	ウッドショック、建材の納期遅延のため。
		津軽	一般小売店	月によって前年をクリアする月はあっても、累計では2桁を超すマイナスとなっている。11月から県内のコロナ感染者が減ってきたので、11・12月はほぼ前年並みの売り上げで、売り上げと感染者との関連性がある。
			観光名所等	一昨年、12月中国へ職員を3名派遣。明けた正月1月末から始まった新型コロナで、自動検温器やマスクやアルコール手配、休業等、企業活動に多大な影響。改装、改築もストップ。
			商店街	売上の減少。人の流れがなくなってしまった。
			都市型ホテル	忘新年会は大～中型のものは無く、3月以降のキャンセルも出始めている。
			コンビニ	イベントや観光等が無いと人が動かない。
			乗用車販売	高額な商品の買い控えが続いている。

現在の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	家計	津軽	設計事務所	飲食業や宿泊施設等に限らず、人との接触を必要とする業務とするものは、殆どが売り上げ減だと思えます。建築設計の場合も、調査や打ち合わせは必須です。しかし、福祉施設等でコロナに対し、特に慎重となる業種は打ち合わせもままならないケースもあります。
			住宅建設販売	木材関係の影響のほか、建材、設備の納入遅延、価格高騰など沢山の影響があり、顧客の建築意識・動向を損ねることにつながった。
			衣料専門店	結婚式、出張、旅行などがなくなり、スーツ、ジャケットが売れない。
			娯楽業	メイン事業がレジャーなので、集客力が大きく落ちた。
		県南	スナック	客数減少、会社で飲み会を禁止したりしているのだ。
			タクシー	人が出てこない。出てきても必要最小限の用事、他人を警戒する。年末年始、久しぶりに街に笑顔と笑い声が戻ってきたのに、この調子で進んでいけたらいいのに。
			衣料専門店	感染拡大による外出制限、自粛。但し、終息した場合は反転し、リベンジ消費が見込まれる。
			卸売業	飲食関係が自粛になっているために、注文件数が減っている。
			百貨店	新型コロナウイルスが世に出たタイミングと、店の経営状況が変化したタイミングが同じだったため、売上の低迷は新型コロナウイルス感染だけではなく、経営状況の変化によるものの方が売上減少に大きく影響しているため。
			旅行代理店	旅行会社なので、大打撃です。
			ガソリンスタンド	行動の抑制が経済活動の停滞につながり、消費、販売に大きく影響している。
			レストラン	11月、12月(コロナが落ちついていた期間)は予約も多くお客様もお断わりする状況でしたが、1月に入り、オミクロン株の影響があり、キャンセルが出たりしています。
			商店街	自宅で食べる食品や自宅で使用する家具家電、衛生関連商品等の一部の分野の動きだけに偏っているように感じるから。
			一般飲食店	当然ながら、売り上げ「減」、これが一番の要因。いまだに完全に客足が戻っていない。「オミクロン」の影響もじわりじわり迫っている。
		下北	コンビニ	夕方の客数が落ちた。早く帰宅する人が多くなった。
			都市型ホテル	宿泊・飲食を伴う職種のため、人の流れが止まる事は死活問題です。
			タクシー	外出する方がいないと成り立たない仕事のため。
			スーパー	来店頻度の減少が顕著にあらわれる。
	企業	東青	経営コンサルタント	県の2回目のワクチン接種率は80%を超え、3回目のワクチン接種が始まる中、11月下旬にオミクロン株が発見され、他の地域がまん延防止等重点措置区域に指定されて、全国的に不安が広がりつつあり、自粛ムードが強まることが懸念される。県内も首都圏を見習う傾向があることから、人の行動を制限すると思われ、購買意欲に影響を与え、景気に大いに影響を及ぼすと考えられる。
			広告・デザイン	消費者が外出を抑制されている為、BtoC商売は軒並み「減」。ただ、BtoB商売は「コロナ対策プロモーション」（県で言うと、各種キャンペーン等）を獲得できている会社は、「減」の分、「増」に出来ていて±0くらいにはなっている。
		津軽	広告・デザイン	業種を問わず、全てが守りの姿勢になっているため、受注物件が減少している。



現在の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	企業	県南	飲料品製造	第5波のコロナの感染状況が落ち着いてから、徐々に動きが見え、飲食店などの週末の盛況ぶりや、団体などの新年会の設定など動きが見え始めたが、第6波に対してのショックの出方を心配している。
			広告・デザイン	広告業(イベント業)は、ご存知の通り、“中止”、“自粛”が2年以上続いている。この2年で会社はかなりの打撃を受け、支援金で生き延びたようなもの。その支援金も一時的に助かったものの、会社継続にとっては決して足りる金額ではなかった。
	雇用	東青	新聞社求人広告	生活、経済が大きく制約を受け、経済活動に大きな影響を与え続けている。
		津軽	新聞社求人広告	コロナ禍で地域経済が疲弊している中で、集客力の高い祭りやイベントが中止になり、地域の活力が失われている。
どちらかといえば影響があった	家計	東青	レストラン	県外からのお客様は少しずついらしていたが、それと同時に、地元のお客様が用心して出てこなくなった。
			コンビニ	周りにオフィスが多いが、自宅での仕事が多くなっているため。
			設計事務所	職種によっては多大な負担を受けてます。回り回って各業界にも影響が及んでいます。人の交流が相変わらず抑えられて、面談する事が稀になっている状態です。
			美容院	影響はありました。コロナにかかりたくないという心配だけで、人々の心配事は大きかったと思います。
		津軽	ガソリンスタンド	観光、運輸業の休業・縮小等の現況から、販売数量の落込み、外出自粛方針により個人消費の減少にも繋がっている。また、仕入単価高騰の影響があった。
			スナック	まだまだコロナ感染者の増減が不安定。
			スーパー	業種毎に、ある程度の特需を感じたため。
			コンビニ	客数の減少。
		下北	一般小売店	仕事柄、飲食店やホテル関連のお客様も多く、実店舗でもお客様の来店数が減ったため。
			ガソリンスタンド	業種によって明暗が別れているが、やはり飲食店、宿泊施設はダメージを受けているようです。
	企業	東青	建設	食品、観光系のお客様の設備投資計画が延期になった。
		県南	建設	メタルショック、ウッドショック、半導体不足、原油高、電気料値上げや食料品の値上げなど、好転材料は全くないに等しく、さまざまな材料の原価高騰で仕事や生活に多大な影響がでている。
			紙・パルプ製造	テレワーク拡大によるペーパーレス化の加速。観光事業等の停滞によるパンフレット等の需要減。
			電気機械製造	会って打合せしたり、交渉したりがなかなかできず、仕事の進みや改善が遅れがちであった。
			食料品製造	外食不振。
			経営コンサルタント	仕事柄、直接の被害はありませんが、クライアントの廃業などで、じわじわと売上が減少しています。
			食料品製造	やはり数字がコロナ前に追いつかない。
		下北	食料品製造	やはり数字がコロナ前に追いつかない。
	雇用	津軽	人材派遣	高齢者訪問介護を実施しているが、新型コロナウイルス感染が心配なため、ヘルパー派遣を控える方が少数ではあるがいらっしゃる。
		県南	新聞社求人広告	イベント集客への影響があった。



現在の影響	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	県南	観光名所等	大きな変化がなく、このままの状態が続くと思われる。
			家電量販店	コロナ感染での実績の良し悪しは、判断が難しい。
		下北	一般飲食店	今までよりは出前が増えたような気はします。宴会が全然なくなりました。
	企業	津軽	経営コンサルタント	昨年未までは、農産物も豊作でしたし、新型コロナウイルス感染も落ち着いていたので、以前と比べて、景気はさほど悪いようには感じませんでした。
			電気機械製造	受注の動向は例年と変わっていないため。
どちらかといえば影響がなかった	家計	県南	住宅建設販売	令和3年9月までは、住宅受注状況が良かったため。
			美容院	3密回避が定着したせいか、マスクも含めて、あまり危機感を感じられないし、特別な事をしているようでもない様です。
	企業	津軽	食料品製造	食品製造業なので、大きな影響はない。

## ② 新型コロナウイルス感染症による今後の景気への影響

今後の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	家計	東青	スーパー	新型コロナ「オミクロン株」感染者数増加により、再び影響が懸念されます。
			タクシー	道路運送業で特にタクシーのような職種は、人の外出移動の増減の影響をまともに受けてしまう職業ですので、コロナウイルス感染症による悪影響はどうあがいても避けようがありません。
			娯楽業	3回目の新型コロナウイルス感染症ワクチン接種を済ませて、収束するまで回復は難しいと思います。
			一般飲食店	国や県を束ねる方の施策が大きく影響しますので、安心感をもって生活できるように強い指導力をもって、今後政策を行っていった欲しい。そのように強く願います。コロナでつまづいた分を取りもどすには、私たち飲食はかなりの時間を要するのだと思いますが、前向きにがんばるしかない。そう決意をもっている昨今です。
			一般小売店	正月明けから感染が急増している。オミクロンの「波」の大きさ次第だが、今後も予断を許さない。
			家電量販店	新しい変異株であるオミクロン株が東北地方でも確認されており、人々の消費行動も自粛へ向かうのではないかと推察しております。
			観光型ホテル・旅館	第6波はおそらく来るのだろうが、以前と違い、ワクチン接種、その他の好影響もあるので、国や県のキャンペーンが中止になることなく、今後も予定通り実施されることを切に願います。また、行政職員皆さんも積極的にお出かけ下さるよう、まずは県が率先してメッセージを発して頂けるようお願い致します。
			都市型ホテル	旅行需要の低下。
			旅行代理店	旅行計画がストップし、計画されてもキャンセルが相次いだため。
			百貨店	営業時間の短縮、従業員の勤務時間短縮、取引先の社員派遣中止、勤務時間短縮。取引先の破たんによる空床の発生。海外からの流通停止による欠品の発生、価格の高騰。
			衣料専門店	専門家は、今回のオミクロンに関しては感染力は強いが、重症化はしない・・・と伝えられていますが、連日報道で感染者数をあおられると、外出は社会に反するようになり、市民相互の監視も感じる。映画の暗黒社会の様である。誰のせいでもないのであろうが、サービス、流通業者は厳しいです。
			商店街	再び、感染爆発の気配があり、ワクチン3回目接種や薬剤の許認可、また、新株の人体への影響データなど、まだまだ今後については、いい方、悪い方、どちらへ転がるかによって、どちらの方向へも多大な影響があると思われる。
			住宅建設販売	建材の納期遅延が解消されない。ウッドショックの先行きが見えないため。
		津軽	コンビニ	コロナが人の動きを悪くしている以上、私達が良くなる事は無い。上手につき合うしか、今はがまんするしかない。
			スナック	オミクロン株の影響。
			観光名所等	オミクロン株の動向、特に海外の異常拡大が気にかかる。日本は島国、インフルエンザの季節と重なり、より検査体制の充実が望まれる。県発表の管内は保健所の管理区域と理解しているが、あまりにもおおざっぱ過ぎる。市と周辺に区分けしてほしい。

今後の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	家計	津軽	都市型ホテル	忘新年会は大～中型のものは無く、3月以降のキャンセルも出始めている。
			レストラン	市内の祭りが中止になると、宿泊客や、当施設併設の飲食店への来店客も見込めなくなる。特に飲食部分は感染状況に影響されやすく、継続していくのは、かなり厳しくなると思われます。
			住宅建設販売	影響そのものの沈静化や平準化はまだ先のようです。
			一般小売店	感染者が減れば良い影響で、増えれば悪い影響となるのは明白であると思う。
			衣料専門店	コロナ禍の終息が望めないから。
			娯楽業	コロナ対策次第で、好転も悪化もする。
		県南	商店街	第6波の懸念を払拭するような材料が乏しいから。
			ガソリンスタンド	現状県内の感染状況は落ち着いているものと思われるが、変異株の感染拡大によっては大いに経済活動の停滞につながるものと思われる。
			スナック	オミクロンへの懸念より。
			タクシー	「コロナ」もやっと落ち着いた雰囲気になったと思いきや、今度は「オミクロン株」。一体どうすればいいのか。皆さん再び警戒を強めて、街から足が遠のいているようだ。
			娯楽業	もし感染拡大が起きたら、また人の動きが鈍くなり、お客さんが来なくなる。
			衣料専門店	感染拡大による外出制限、自粛。但し、終息した場合は反転し、リベンジ消費が見込まれる。
			卸売業	コロナが終息しなければ、お客様が外に出ないために飲食関係はほぼ仕事がない。
			レストラン	このままオミクロン株が増え続けると、市内、県内の皆さまは外出を控えると思います。来店されるお客様が減る事を予測し、歓送迎会も難しいと思い、仕出し弁当で乗り切ることができたらと、仕出し弁当の注文に期待したいです。
			旅行代理店	コロナ感染症の人数の増減により、毎日のようにツアー申込みやキャンセルの動きがある。
		下北	都市型ホテル	良くも悪くも、コロナ次第です。
			一般飲食店	現在(1/13日)、オミクロンが市内で1名出たというだけで、ホテルも周りの店も結構キャンセルが相次いでいると聞こえてくると、当社のような老舗でも、うかうかしてられません。
			タクシー	外出する方がいないと成り立たない仕事のため。
	企業	東青	経営コンサルタント	県内の景気は回復傾向にあると思われるが、オミクロン株の出現で、今後の景気への影響をどのように考えればよいのか、不安視する声が多く、経済の正常化はコロナの関係で不確実なものとなっている。
		津軽	広告・デザイン	コロナ感染騒動の終息時期が不明なため、経済が動かず、経営者の苦難は続く。
			建設	管内の感染がまた多くなっている。本人・家族・学校、職場等、どんどん広がり、多くの人が感染し、休業せざるを得なくなる。そして社会が停滞してしまう。
			食料品製造	新型コロナで少し戻ったかに見えた経済もまたかという感じで、あらゆる職種に影響を及ぼしている。

今後の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	企業	県南	飲料品製造	地域差はあるようだが、一部の地域では、第6波の発生で新年会のキャンセルが増え始めた。
			経営コンサルタント	コロナが終息したかと思いきや、またオミクロン株の蔓延になりそうです。オミクロン株についてはあまり重症化はしないようですし、前のように経済活動を止めることの無いようにして欲しい。コロナと共存していくしかないのでは。
			建設	第6波のピークが2月～3月に予想されており、この時期の3回目のワクチン接種作業にも影響が出るし、全年代のワクチン接種の完了もまだ先の話なので、終息後の景気回復はまだまだ予測できない。しかも、終息といえるのは日本だけがおさまって終わりではなく、全世界の終息がなければ日本の経済は正常にまわらない。
	雇用	下北	食料品製造	年未年始で、人々の動きが活発になった反面、またコロナの感染者が増え、21年の春と同じような感じです。
		津軽	新聞社求人広告	オミクロン株による感染拡大をどこまで抑えられるか。春の観光・行楽シーズンに影響するようだと非常に厳しい。国民への3回目のワクチン接種も速やかにいかず、ブースター接種の効果は夏以降になるのではないかと。
どちらかといえば影響がある	家計	東青	レストラン	これから第6波が心配。必ず影響が出ると思う。
			卸売業	オミクロン株の感染者が多く出てきているので、春先にかけて、人の移動に合わせて影響があると思う。
			設計事務所	この先の事はコロナ次第です。収束したとしても、業界が急速な飛躍を見込めないが、マスクなしの現場作業の効率を期待したい。
			コンビニ	コロナウイルスがおさまったわけでないので、まだ影響があると思います。
		津軽	ガソリンスタンド	オミクロン株の新型コロナウイルス感染拡大が一番懸念される。更なる行動自粛強化方針となる事態も想定され、原材料の高騰も考えられ、消費動向の落ち込みも予想される。
			設計事務所	オミクロン株をどう扱うかによると思います。デルタ株と同様に経済をSTOPするような対策を取った場合は、非常に影響があると思います。重症化率が極めて低いのであれば、経済を活性化しながらの対策とすべきではと思います。
		県南	百貨店	顧客の約7割は60歳以上のシニア層であり、新型コロナウイルス感染症に対して強い恐怖感を持っているお客様が多い。予防接種を2回済ませて感染するオミクロン株の感染者が増えると、また外出自粛の傾向が強まり、来店客数は減少すると考えられる。必死に予約して受けた2回の予防接種は何だったんだろう、という声がよく聞かれます。
			コンビニ	先が、終わりが見えない不安。
			一般飲食店	やはり、大きく心配しているのは「オミクロン」が今後どこまで支配するかが心配の種。その為、客足の伸び悩みが考えられる。また、コロナで賃金が低下し、生活をするのがいっぱいいっぱいのような感じがする。

今後の影響	分野	地区	業種	理由
どちらかといえ ば影響がある	家計	県南	一般小売店	コロナの影響がほぼ収まったと仮定しても、ディスタンスの観点から、施設の集容人数の制限や、コスト増等で、コロナ前に戻る事は無いと思われる。
			美容院	このまま進むと安定感が見えて来て、行動がある程度、自由度が増して来る様に思います。我慢の後の行動が望まれます。
		下北	スーパー	感染の拡大状況により自己防衛行動をとり、外出・交流の減少、巣ごもり機会の増大で経済活動の停滞が考えられる。
	企業	東青	広告・デザイン	オミクロン株の蔓延と、ワクチン3回目接種の実施時期の予想が出来ないため。
		県南	広告・デザイン	ここにきてオミクロン株が拡大している状況で、今後拡大が続けば、広告業に打撃があるのは見えています。
			紙・パルプ製造	第6波による、経済の停滞による景気回復の鈍化。
			食料品製造	感染拡大の懸念から、消費が落ち込むため。
			電気機械製造	オミクロン株でまた出かけるのが難しくなり、いろいろな案件が先延ばしになったり、コミュニケーション不十分で進めることになりそうなのが心配です。ただ、状況は皆同じなのでweb打合せなど活用して対処していきたい。それと、社内に感染者が出ないかが心配。そうすると売上減は避けられないので。
		雇用	東青 人材派遣	ワクチン関連業務や景気対策業務等での人材オーダーが見込める。
		県南	新聞社求人広告	オミクロン株の流行。
どちらとも言え ない	家計	東青	美容院	やはり、まだ安心できないという気持ちは変わらないと思います。けれど、それなりにお客様も変化していくように努力していると思います。
		津軽	商店街	年末年始も終わり、県をまたぐ移動が少なくなるので、景気回復がありそうではあるが、年度末あたりは、就職や進学で他県の移動がある人は必ずいるので、なんとも言えない。
			家電量販店	感染者数は日々増加しており、先行きの見えない状況になった。3年目を向かえるコロナ禍で、感染対策をしながらの消費行動に変化はないと思える。また、コロナ特需の反動、半導体不足等が起因の品不足の影響がぬぐえない。
		県南	住宅建設販売	住宅受注状況にコロナ感染症の影響があるか不明のため。
			観光名所等	今後の予想がわからない。
			家電量販店	予測がつかないです。
		下北	コンビニ	オミクロンが拡大しないように感じる為。
			ガソリンスタンド	11・12月はコロナも落ち着き、市役所でもイベントを勧めたり、飲食店を利用するようにして戻りつつあったが、オミクロンが今後どのようになるのか。3～4月の歓送迎会までに落ち着けば良いのですが。
	企業	東青	建設	コロナに対する感覚は、変化してきていると感じる。共存しながら、前に進んでいくフェーズに入ったのではないのでしょうか。
		津軽	経営コンサルタント	オミクロン株の感染の波がどの程度で収まるか、ワクチンのブースター接種がどの程度早まるかに、大いに影響されると思います。
			電気機械製造	オミクロン株により急拡大しているため、どのような影響が出るか想像できない。